令和　　年　　月　　日

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構　殿

（機関名）

（部署・職名）

（氏名）

専用実施権等設定・移転承認申請書

　戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）課題「光・量子を活用したSociety 5.0実現化技術」に係る委託研究契約に基づき、委託研究の成果に係る専用実施権等の設定等を以下のとおり申請します。　専用実施権等の設定等に際しては、専用実施権等の設定を受ける者に（元号）○年○月○日付の委託研究契約書知財条項第３条から第８条の規定を遵守することを約定させます。

１．本通知に係る委託研究の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題 |  |
| 研究題目 |  |
| 契約番号 |  |
| 委託研究担当者氏名　所属・役職（研究実施当時） |  |
| 研究（開発）期間 | （元号）　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日 |

※　研究課題、研究題目は委託研究契約書に記載の名称をご記入ください。

２．対象となる知的財産権について（\*１）

|  |  |
| --- | --- |
| 申請内容 | 専用実施権等の　設定・移転の承諾 |
| 知的財産権の種類 |  |
| 発明等の名称 |  |
| 設定登録番号又は出願番号等 |  |

３．設定・移転先とその理由について（\*２）

設定・移転先名称・住所

設定・移転の理由

　　　　　　【１】設定・移転先が国内事業活動において当該知的財産権を利用するため

【２】設定・移転先が海外事業活動において当該知的財産権を利用するため

【３】その他

具体的な移転理由

（通知書記載要領、注意事項）

※様式全般について：日付は和暦表記としてください。

◆２．対象となる知的財産権について（\*１）：

　　申請内容：該当する申請内容（専用実施権等の設定、又は専用実施権等の移転の承諾）を選択してください。

　　知的財産権の種類：特許権、実用新案権、意匠権、回路配置利用権、育成者権、著作権のうち、該当するものを記載してく

ださい。

発明等の名称：発明、考案、意匠については当該発明、考案、意匠に係る物品の名称、回路配置については、回路配置を用

いて製造した半導体集積回路の名称及び当該半導体集積回路の分類（構造、技術、機能）、植物体の品種にあ

っては農林水産植物の種類（属、種、亜種）、出願品種の名称、著作権にあっては、著作物の名称　を記載して

ください。

　　　　設定登録番号又は出願番号等：当該種類に係る設定登録番号、設定登録の出願又は申請番号もしくは著作物の登録番号又は管

理番号を記載してください。

　◆３．移転先とその理由について（\*２）：

　　　　移転先名称・住所：移転先が複数ある場合には、全ての移転先について記載してください。

　　　　移転の理由：【１】～【３】より該当するものを選択してください。

　　　　具体的な移転理由：以下の観点から具体的な移転理由を記載してください。

　　　　・当該知的財産権を利用した事業活動（製品化に向けた開発研究・製品の製造・サービスの提供等）の実績又は具体的な計画

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【１】、【２】

　　　　・当該知的財産権の利用による我が国に利益がもたらされることが明確であることの説明　【２】

　　　　・当該専用実施権等の設定等が必要である理由の具体的な説明　【３】

　※本様式（知財様式４）にて事前申請を行った場合、専用実施権等の設定等を実施した後にあらためて（知財様式２）にて通知を行

ってください。